

一般社団法人 可視化情報学会 第28期事業報告 (2016年[平成28年]6月1日～2017年[平成29年]5月31日)

I 会誌等出版物の発行

1. 会誌の発行：会誌第36巻142号～第37巻145号、36巻増刊号I(第44回可視化情報シンポジウム)、第36巻増刊号II(可視化情報全国講演会日立2016)を発行した。発行部数は会誌1200部、増刊号I USBのみ220本、増刊号II USBのみ200本である。なお会誌142号は「UVPによる流体の可視化」、143号は「女性研究者による可視化」、144号は「バイオミクスと可視化」、145号は「超高速イメージング最前線」を特集した。
2. 論文集のオンライン発行：No.8(2016)、No.11(2016)、No.12(2016)、No.2(2017)、No.5(2017)
3. 英文論文集の発行：英文論文集“Journal of Visualization” Vol.19, No.3～No.4, Vol.20, No.1～No.2を発行
4. 新規書籍の編集：(1)可視化技術ハンドブックの編集、(2)PIVハンドブックの編集
5. その他の刊行物：第23回および第27回「可視化フロンティア」PSP/TSP講習会テキスト、第24回「可視化フロンティア」UVP講習会テキスト、第25回「可視化フロンティア」PIV講習会テキスト、第26回「可視化フロンティア」機械学習・画像認識に関する講習会テキスト、
6. 可視化情報学会ホームページの充実・更新

II 総会、シンポジウム、講演会の開催

1. 総会、シンポジウム、講演会等の開催および準備
 - (1) 平成28年通常総会(2016年7月19日、東京・工学院大学・新宿校舎)の開催
 - (2) 第44回可視化情報シンポジウム(2016年7月19日～20日、東京・工学院大学新宿校舎)の開催
 - (3) 可視化情報全国講演会(日立2016)(2016年10月8日～9日、日立・茨城大学)の開催
 - (4) 第5回風洞シンポジウム(2016年11月22日、千葉・産業技術総合研究所)の開催
 - (5) 第22回ビジュアルセッションカンファレンス(2016年11月25日、東京・TIME24)の開催
 - (6) 可視化文化フォーラム(2016年11月25日、東京・TIME24)の開催
 - (7) 代議員の改選(2017年3月28日)※可視化情報シンポジウムと可視化情報全国講演会の統一開催が当期理事会にて決定し、詳細は次期理事会にて話し合う。
2. 国際シンポジウム等の開催・協力
 - (1) The 17th International Symposium on Flow Visualization (ISFV17) (2016年6月19日～22日、Gatlinburg, Tennessee, USA)への準備・協力
 - (2) The 10th International Symposium on Ultrasonic Doppler Methods for Fluid Mechanics and Fluid Engineering (ISUD 10) (2016年9月28日～30日、東京・東京工業大学)の主催
 - (3) The 14th Asian Symposium on Visualization (ASV14) (2017年5月22日～26日、Beijing, China)への準備・協力
3. 講習会の開催
 - (1) 第23回講習会「可視化フロンティア PSP/TSP講習会2016」(2016年7月21日)
 - (2) 第24回講習会「可視化フロンティア超音波流速分布計測(UVP)の基礎と応用(ハードウェアとソフトウェア)」(2016年11月25日)
 - (3) 第25回講習会「可視化フロンティア PIV講習会2016-2」(2016年12月14日)
 - (4) 第26回講習会「可視化フロンティア 機械学習・画像認識に関する講習会2017」(2017年5月17日)
 - (5) 第27回講習会「可視化フロンティア PSP/TSP講習会2017」(2017年5月29日)

Ⅲ 賞の授与等

1. 可視化情報学会 学会賞・論文賞
なし
2. 可視化情報学会 学会賞・技術賞
 - (1) 神田 淳(JAXA), 細矢 直基(芝浦工業大学), 梶原 逸朗(北海道大学)
「レーザーを用いた完全非接触での Lamb 波生成可視化技術の開発」
 - (2) 吉田 佳広(東京理科大学), 亀谷 雄樹(東京理科大学), 元祐 昌廣(東京理科大学)
“Evaluation for rolling behavior of cell-sized particle by lateral observation in microchannel”
3. 可視化情報学会 学会賞・奨励賞
 - (1) 田中 洋介(京都工芸繊維大学)
“Thinning and Break-down Behavior of Liquid Film under a Droplet Floating on the Mother Phase”
 - (2) 八木 佐也香 (NTT (元お茶の水女子大学))
「Storyline を適用した連続数値型時系列データ可視化のためのレイアウト手法」
4. 可視化情報学会 学会賞・映像賞
なし
5. 第 44 回可視化情報シンポジウム ベストプレゼンテーション賞
 - (1) 加藤 優太 (愛知工業大学))
「感温塗料による形状記憶合金表面の温度分布の時系列計測」
 - (2) 市川 賀康 (東京理科大学)
「壁面情報を必要としない壁面せん断応力の導出に関する検討」
 - (3) 河本 仙之介 (東京農工大学)
「高速液体マイクロジェットの体積制御に関する可視化実験」
6. 第44回可視化情報シンポジウム アート賞
 - 大賞
酒井 大輝, 執行 悠太, 川上 拓海 (東京理科大学)
“Micro-space odyssey”
 - 金賞
廣川 雄一, 西川 憲明, 浅野 俊幸 (海洋研究開発機構), 坂井 隆志 (イマジナリーパワー), 山田 武志, 印南 潤二 (ベクトル総研)
「都市河川氾濫時における大規模避難シミュレーションの可視化」
 - 銀賞
川副 由梨花, 川原 直人, 慶山 智昭, 佐野 史亮, 大工原 みのり, 根岸 菜摘, 宮下 裕也, 宮田 佳苗, 八木 達也 (東京都市大学)
「つながる未来」
7. 全国講演会 (日立 2016) ベストプレゼンテーション賞
 - (1) 佐藤元紀 (茨城大学)
「自由表面流れ場における集水装置を有する軸流水車の後流特性」
 - (2) 竹内 桃 (室蘭工業大学)
「渦輪の固体平壁面衝突時における圧力場変動」
 - (3) 鈴尾亮太 (茨城大学)
「流量変化が重力渦式水車の流れ場に及ぼす影響」
 - (4) 水上峻一 (金沢大学)
「片持ち弾性支持された断面辺長比の小さい角柱の流力振動特性と流れ」
8. 全国講演会 (日立 2016) 高校生特別セッション
金賞

茨城県立日立第一高等学校 加藤 由稀, 小川 航平, 佐甲 魁世, 斎藤 瑞紀
「スズメガの幼虫の重力定位行動」

銀賞

茨城県立日立第一高等学校 萬代 充裕, 澤田 未来
「高校でできる実験をもちいた水素結合評価の挑戦」

9. 名誉会員の推挙 (平成28年通常総会において次の方を推挙)

小山田 耕二

10. シニア会員の推挙 (平成28年通常総会において報告)

荒川 忠一, 有富 正憲, 岩永 正裕, 大崎 弥枝子, 大堀 務, 高曾 徹, 小林 淳一, 斎藤 務,
佐久田 博司, 清水 誠二, 鈴木 憲男, 田子 精男, 土元 裕一, 林田 滋, 久田 重善 (五十音順)

IV 委員会・研究会等の活動

1. 理事会・委員会等の開催 (括弧内は委員長名)

通常総会	1回
理事会	1回
総務委員会 (宮地 英生)	10回
編集委員会 (澤田 達男)	3回
企画委員会 (二宮 尚)	5回

総務委員会関連

可視化情報センター (丹下 学)	1回
------------------	----

編集委員会関連

学会誌編集委員会 (富松 重行)	4回
和文論文集編集委員会 (亀田 正治)	2回
可視化ハンドブック編集委員会 (岡本 孝司)	1回
映像ライブラリー編集委員会 (榊原 潤)	1回
PIVハンドブック編集委員会 (榊原 潤)	3回

企画委員会関連

第44回可視化情報シンポジウム実行委員会 (新関 良樹)	10回
第45回可視化情報シンポジウム実行委員会 (平原 裕行)	5回
全国講演会実行委員会 (日立 2016) (稲垣 照美)	3回
全国講演会実行委員会 (室蘭 2017) (河合 秀樹)	2回
ビジュアルセッションカンファレンス実行委員会 (井門 俊治)	5回
可視化文化フォーラム実行委員会 (宮地 英生)	1回
国際会議担当 (田中 覚)	1回
ASV 特別委員会 (後藤 彰)	1回
FLUCOME 特別委員会 (澤田 達男)	1回
ISFV 特別委員会 (岡本 孝司)	1回
PIV 特別委員会 (菱田 公一)	1回
ISUD10 (木倉 宏成)	2回
講習会委員会 (染矢 聡)	1回
PIV 講習会 東京 (染矢 聡)	2回
PSP/TSP 講習会 (染矢 聡)	3回
UVP 講習会 (木倉 宏成)	3回
機械学習・画像認識に関する講習会 (松岡 大祐)	4回
PIV 技術者資格認定委員会 (二宮 尚)	1回
研究会担当 (中島 憲宏)	1回

2. 研究会の活動

- (1)風洞研究会(主査：阿部 裕幸)
- (2)ビジュアルデータマイニング研究会(主査：小山田 耕二)
- (3)みえる化研究会(主査：土井 章男)
- (4)PSP/TSP 研究会(主査：浅井 圭介)
- (5)UVP 研究会(主査：木倉 宏成)
- (6)こころの可視化 (主査：加藤 千恵子)

3. その他

- 日本学術会議「若手アカデミ-若手科学者ネットワーク」への参加 (代表：竹島 由里子)
横幹連合「第8回横幹連合コンファレンス」への協力(委員：小山田耕二)
横幹連合 2017 年度定時総会への参加 (担当：海保 真行)
2016 年度機械系関連学協会 会長懇談会への参加 (高橋 桂子)
日本工学会事務局への参加 (事務局：門脇 美由紀)

V 共催・後援・協賛

1. 共 催

- (1) 第 54 回燃焼シンポジウム (2016 年 11 月 23 日～25 日, 日本燃焼学会)
- (2) 公開シンポジウム「人工知能と可視化」(2016 年 11 月 30 日, 日本学術会議)
- (3) キャビテーションに関するシンポジウム(第 18 回)(2016 年 12 月 8 日～9 日, 日本学術会議)
- (4) 第 54 回伝熱シンポジウム (2017 年 5 月 24 日～26 日, 日本伝熱学会)

2. 後 援

- (1) 画像情報教育振興協会 2016 年度検定(2016 年 7 月 10 日(前期), 11 月 27 日(後期), 画像情報教育振興協会)
- (2) 日本学術会議 公開シンポジウム「総合工学シンポジウム 2016」(2016 年 7 月 20 日, 日本学術会議)
- (3) 平成 28 年度 KAST 教育講座「計算力学の基礎」コース (2016 年 8 月 31 日～9 月 1 日, 9 月 13 日～14 日, 神奈川科学技術アカデミ-)
- (4) 平成 28 年度教育講座「実習で学ぶ, 振動+強度の解析と設計コース」(2016 年 9 月 27 日, 28 日, 10 月 4 日, 神奈川科学技術アカデミ-)

3. 協 賛

- (1) No.16-63 講習会「CFD の基礎とノウハウ」(2016 年 6 月 21 日, 日本機械学会)
- (2) 第 48 回流体力学講演会/第 34 回航空宇宙シミュレーション技術シンポジウム (2016 年 7 月 6 日～8 日, 日本航空宇宙学会他)
- (3) 日本機械学会関東支部講習会「変わる! これからの機械工学」シリーズ 第 2 回「ビッグデータの機械工学へのイパ-クトを探る」(2016 年 7 月 11 日, 日本機械学会)
- (4) 第 35 回日本医用画像工学会大会 (2016 年 7 月 21 日～23 日, 日本医用画像工学会)
- (5) 第 18 回結晶成長国際会議 (2016 年 8 月 7 日～12 日, 日本学術会議他)
- (6) 「機械の日・機械週間」記念行事 (2016 年 8 月 7 日, 日本機械学会)
- (7) 日本混相流学会混相流シンポジウム 2016 (2016 年 8 月 8 日～10 日, 日本混相流学会)
- (8) 第 22 回流れのふしぎ展 (2016 年 8 月 11 日～12 日, 日本機械学会)
- (9) No.16-85 講習会「実験流体力学 流体計測の基礎」(2016 年 8 月 29 日, 日本機械学会)
- (10) 日本実験力学学会 2016 年度年次講演会 (2016 年 9 月 1 日～3 日, 日本実験力学学会)
- (11) 第 25 回日本ハ-イイメージング学会学術集会 (2016 年 9 月 4 日～6 日, 日本ハ-イイメージング学会)
- (12) 2016 年度 計算力学技術者(CAE 技術者)資格認定事業 (2016 年 9 月 10 日, 17 日, 12 月 10 日, 日本機械学会)
- (13) 日本流体力学学会 年会 2016 (2016 年 9 月 26 日～28 日, 日本流体力学学会)
- (14) No.16-84 講習会『伝熱工学資料(改訂第 5 版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用 (2016 年 9 月 29 日～30 日, 日本機械学会)

- (15) 第1回ポスト「京」重点課題⑥シンポジウム (2016年10月12日, 東京大学院工系研究科)
- (16) トリプレックス会議 2016 秋 新潟 (2016年10月12日～14日, 日本トリプレックス学会)
- (17) 平成28年秋季フルード・パワーシステム講演会 (2016年10月19日～21日, 日本フルード・パワーシステム学会)
- (18) 第44回日本ガスタービン学会定期講演会 (2016年10月26日～27日, 日本ガスタービン学会)
- (19) 第64回レオロジー討論会 (2016年10月28日～30日, 日本レオロジー学会)
- (20) The 11th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics (2016年11月1日～4日, 日本実験力学学会)
- (21) The 4th International forum on Heat Transfer (IFHT2016) (2016年11月2日～4日, 日本伝熱学会)
- (22) 31st International Congress on High-Speed Imaging and Photonics (2016年11月7日～10日, 第31回高速度イメージングとフォトニクスに関する国際会議委員会)
- (23) ステップアップセミナー 2016 計算機の大規模化と数値計算法 (2016年11月8日, 日本機械学会)
- (24) No.16-14 第59回自動制御連合講演会 (2016年11月10日～12日, 日本機械学会他)
- (25) No.16-148 第17回リーダーを目指す技術者セミナー (2016年11月12日, 日本機械学会)
- (26) 第346回講習会 実務者のための流体解析技術の基礎と応用 (2016年11月16日～17日, 日本機械学会)
- (27) 平成28年度オームセミナー「生産技術に貢献するフルード・パワー in トヨタ産業技術記念館」(2016年11月25日, 日本フルード・パワーシステム学会)
- (28) 第24回風工学シンポジウム (2016年12月5日～7日, 日本建築学会他)
- (29) No.16-30 第27回内燃機関シンポジウム (2016年12月5日～7日, 日本機械学会)
- (30) 計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会(SSI2016) (2016年12月6日～8日, 計測自動制御学会)
- (31) 第30回数値流体力学シンポジウム (2016年12月12日～14日, 日本流体力学学会)
- (32) No.16-147 講習会「流体とインフォマティクス～最適化,統計データ分析で見えてくる新しい世界」(2016年12月22日, 日本機械学会)
- (33) 第4回ガスタービンセミナー (2017年1月26日～27日, 日本ガスタービン学会)
- (34) 平成28年度ウインターセミナー「自動車の動力伝達機能を支える油圧技術」(2017年2月17日, 日本フルード・パワーシステム学会)
- (35) No.16-30 平成28年度衝撃波シンポジウム (2017年3月8日～10日, 日本衝撃波研究会)
- (36) 第2回ポスト「京」重点課題⑧シンポジウム (2017年3月17日, 東京大学生産技術研究所)
- (37) 第51回空気調和・冷凍連合講演会 (2017年4月19日～21日, 第51回空気調和・衛生工学会)
- (38) 平成29年春季フルード・パワーシステム講演会 (2017年5月25日～26日, 日本フルード・パワーシステム学会)
- (39) 第22回日本計算工学講演会 (2017年5月31日～6月2日, 日本計算工学会)

VI 第28期役員

会長 高橋 桂子 (海洋研究開発機構)

副会長 平原 裕行 (埼玉大学)
海保 真行 ((株)日立製作所)
新関 良樹 ((株)東芝)

理事

総務理事

委員長 宮地 英生 (東京都市大学)
榊原 潤 (明治大学) 川口 達也 (東京工業大学)

財務理事

桑原 譲二 ((株)フォトロン) 元祐 昌廣 (東京理科大学)

編集理事

委員長 澤田 達男 (慶應義塾大学)

伊藤 貴之 (お茶の水女子大学) 亀田 正治 (東京農工大学)
 富松 重行 ((株)電業社機械製作所) 竹島由里子 (東京工科大学)

企画理事

委員長 二宮 尚 (宇都宮大学)
 田中 覚 (立命館大学) 中島 憲宏 (日本原子力研究開発機構)
 加藤千恵子 (東洋大学) 染矢 聡 (産業技術総合研究所)
 松岡 大祐 (海洋研究開発機構)

監 事 後藤 彰 ((株)荏原製作所) 望月 修 (東洋大学)

Ⅶ 会員の異動状況

会員区分	正会員	学生会員	賛助会員	名誉会員	計
2016年5月31日現在	739	12	52	39	842
2017年5月31日現在	717	12	49	40	818
増 減	▲22	0	▲3	1	▲24

Ⅷ 会長・副会長からのコメント

・会長 高橋 桂子

第28期は、本事業報告に記述したとおり当初業務計画としていた事業を滞りなく完遂することができた。本期理事会では特に「可視化情報シンポジウム」「全国講演会」「ビジュアルイノベーションカンファレンス」の3つの大きな学会のイベントの在り方を大いに議論し、来期以降の「可視化情報シンポジウム」と「全国講演会」との統合を決定した。また、本期は代議員選挙が実施され新たな代議員が選出された。加えて、新しい学会賞の選出、新しい内容の講習会などが企画され学会の活性化の一翼を担った。以上、本学会のさらなる発展へ向けた新たな一歩として報告する。

・総務担当副会長 平原 裕行

一般社団へ法人化して以降、公益目的事業を継続しつつ学会の健全化を目的とした様々な施策を投じてまいりました。公益目的事業は着実に実施され、当初予定よりも早く学会が独り立ちできることを示しております。しかし、財政の健全化はまだ多く解決すべき問題が残されております。次期の活動に向けて皆様の理解と協力をお願いいたします。

・編集担当副会長 海保 真行

全国講演会(日立2016)では、学会の基盤強化にもつながる初めての試みとして、実行委員長の茨城大学稲垣教授のリーダーシップのもと、地域の高校生に可視化の研究に関するポスターを展示してもらう「高校生特別セッション」を実施した。

・企画担当副会長 新関 良樹

副会長として企画と表彰を担当しました。シンポジウムと全国講演会の統合をはかり、産業界の参画促進をはかる新しい賞を始めて実施するなど、変革の期にあたって大いにやりがいがありました。これらの施策がしっかり根付き学会活性化につながることを願います。

以上